

私たちは、良質で安全な医療と
療養環境を提供致します。



OASIS

2019年 新年号

愛友会 上尾中央第二病院 季刊誌 ●URL <https://www.ach2.jp/> ●TEL: 048-781-1101

2019年 迎春 新年明けましておめでとうございます

よき新春を迎えられたこと、謹んでお喜び申し上げます。今年
は年子が変わるということもあり、心機一転、我々職員一同も初心を
忘れず日々務めていく所存でございます。また、当院の理念にある
ように良質で安全な医療と療養環境を提供し、更に地域の皆様へ
愛される病院として存在していきたいと思っております。
最後になりますが本年が皆様にとって幸せ多き一年となりますよう
心よりお祈り申し上げます。

院長 藤澤和彦



はじめまして、新しい先生の紹介

皆様こんにちは。私は昨年8月に入职した池田
真仁と申します。旧浦和市の生まれで、高校
まで浦和の学校に通っていました。東京の医科大学
を卒業後は主として柏にある付属病院で研鑽を積
みました。総合内科で内科の一通りの疾患を経験
した後、呼吸器内科を専門として肺炎、COPD、
喘息、間質性肺炎、肺癌などの疾患を診てきまし
た。呼吸不全は心不全や多臓器不全も合併するこ
とが多く、全身管理を学ぶのにとっても良い経験に
なりました。その後は救急診療部に出向して様々な内
科系、外科系の疾患も経験しました。12年間大学
病院に在職した後はさいたま市内の一般病院に勤
務し、精神科患者さんの身体合併症を中心に診て
来ました。そして縁があって昨年8月から当院に勤
務しています。

私の診療に対するモットーは温かい気持ちと信念

医師 池田 真仁



を持った診療をすることです。患者さん
は些細な事にも悩みや不安を持っ
ています。患者さんにはどんなに優し
くてもしきれないことはありません。ま
た、診療に100%の正解はありません。どんな結果
になるかはその時になってみないと分かりませんし、
たとえ医学的に正しくてもその患者さんにとって幸
せであるとも限りません。どんな結果になっても先生
に診てもらってよかったと思えるのが患者さんや家
族の人にとって救いになるのではないかと思います。
そのためには患者さんに一つの道を示せるのが
医師にとって必要ではないかと思うのです。

私は内科の医師として常に研鑽を積み患者さん
に良質な医療を提供できるよう努力する所存です。
職員の皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしく
お願い申し上げます。

おたのしみ会



HAPPY HALLOWEEN
平成30年10月31日



委員全員で仮装をして患者様のお部屋へ伺い、一人一人と触れ合うレクリエーションをおこないました。
普段と違う格好にビックリされる方も居ましたが、患者様自身も仮装してもらったり、木に様々な色の葉っぱ
を付けてオリジナルのツリーを完成させたりと普段のレクリエーションではなかなか難しい患者様との触れ合
いが長く取れたのと何よりも笑顔が見られたのが、私たち委員にとって嬉しかったです!!!

ボランティア・レクリエーション委員一同：記

認知症サポーター 養成講座開催

11月22日(木) 14時～15時30分に地域住民の方
を対象に実施しました。参加者は15名で認知症の概要や
VTRを用いて地域で暮らす認知症患者さん遭遇した時の対応について講義しました。

実際に認知症の方が多く訴える、物取られ感に対して疑われてしまうご家族の良い対応の仕方、悪い
対応の仕方を劇で実施しました。

看護部 原 早苗



AGEO MEDICAL GROUP 大運動会

10月14日(日)

10月14日に第54回AMG大運動会が
開催されました。

各チームに分かれ1ヶ月前からお昼休み
や業務後を利用して汗を流し練習に励み、準備万端で当日を迎えましたが朝からまさかの雨。前日から降り続い
ていたためグラウンドはぐちゃぐちゃの中、百足競争のみ取り行われました。

滑りやすい状況のため、まず転ばないように慎重に走ることを意識しました。スタートから順調に歩みを進め、
一走目から1位をキープ。見事7病院中1位という素晴らしい成果を挙げる事ができました。来年も一致団結
し優勝を目指して頑張りたいと思います。

運動部 大島 浩介



見事に優勝
しました!

第二回 市民公開講座



12月5日(水)平成30年度第2回市民公開講座を開催させて頂きました。

この講座は、当院が所属する上尾中央医科グループの理念「愛し愛される病院・施設」のもと皆さまの健康に貢献する取組みとして年2回開催させていただいております。

さて、昨今の上尾市の医療環境は、人口10万人当たりの医師数が全国平均の約7割、その他の従事者も慢性的に不足している状況です。それにもかかわらず2015年から2025年の10年間で医療需要は約1割増、介護需要に至っては約5割増が予測されています(日本医師会資料)。上尾市医療の需給バランスを保つためには医療提供者側の努力だけでは限界があり、地域住民一人ひとりによる「病氣予防」も必須とされています。そこで今回の3演題「健康診断検査結果の見方」「筋肉と栄養」「転倒予防体操」から地域の皆さまへ最新情報を提供させていただくこととなりました。

講演当日は師走にもかかわらず気温が22.3度と暖かく天候にも恵まれ参加者24名と多くの方にご来場していただきました。

まず一つ目の演題「健康診断検査結果の見方」では、当院 臨床検査技師 景山先生より各検査項目の具体的な説明がありました。異常値があれば「検査値が間違っている…」などと言わず素直に受け止め病気の早期発見、早期治療に繋げること、更に、検査は単発にせず毎年の数値を比較できるようにすることで病気の予兆を発見し未然に病気を防げるようになるとの事でした。参加者には、ご自身の検査結果を元に景山先生へ質問をされるなどとても熱心な方もいらっしゃいました。

次の演題「筋肉と栄養」では、当院 管理栄養士 小川先生より「メタボリック・ドミノ」や「低栄養と身体機能低下の悪循環」について学びました。ここでは、低栄養や筋肉量減少は些細なきっかけで相互に連鎖的に影響し合い悪循環に至るとの事でした。実は2時間ほど早く会場にいらした参加者からは「なかなか筋肉がつかないので今日はとても関心がある」と伺っておりました。主食+主菜+副菜を揃えてバランス良く食べることが大切であり、筋肉量を維持すると同時に骨を丈夫にするための栄養素もあわせた献立の提案で、伝えられたのではないかと思います。

最後に「転倒予防体操」を理学療法士 新井先生に講演いただきました。新井先生からは、参加者と一緒に体を動かしながら、加齢による関節の変化やその部位に関係する筋肉の特徴などを具体的に聞き、それぞれの動作がどのように転倒予防に繋がるかをとても分かりやすく学びました。

講演後は、例年通り「お茶会」と称し参加者と講師や当院職員との交流を通して様々な質問を受けました。また参加者同士の会話も弾んだようとても活気のある雰囲気でした。お茶会中は、無料で「血管年齢検査」「骨密度測定」を実施、ご自身の検査結果に一喜一憂している場面も見られ今後の病氣予防にお役に立てたようです。

この市民公開講座は、当院スタッフの上尾市民の健康に貢献する意識が高まると共に、日々の仕事に対しても勇気づけられる貴重な機会にもなっております。来年度以降も企画してまいりますので皆さまの参加をお待ちしております。

地域連携課 田口 栄治



上尾市人間ドック実施中



上尾市特定健診は、昨年10月末日に終了しましたが、未受診の方は、上尾市人間ドックを申し込まれると、2月末日まで受診券が有効となります。

ご希望の方は、病院で予約を取られた後、上尾市役所で人間ドック受診の手続きをお願いいたします。

上尾市人間ドック	38,880円	市補助額	20,000円
		自己負担額	18,880円

上尾市肺炎球菌接種はお済みですか？

対象：平成31年3月31日までに、65才、70才になられる方、及び75才以上の方
 期間：平成31年3月31日まで
 負担額：5,000円
 実施日：祝日を除く月・水・木・金曜日
 ご予約お待ちしております



—お問い合わせ・ご予約—
 048-781-1902・048-781-1101
 月～土曜日(祝日を除く) 9:00～17:00

院内旅行



11月中旬に栃木県日光市へ院内旅行に行ってきました。少しのハプニングはありましたが、お天気にも恵まれ楽しい一時を過ごせました。紅葉や温泉、楽しい宴会により心身ともにリフレッシュを図ることができました。

厚生部 岡村 洋克

ホームページをリニューアルしました
 みなさん見てください!
 上尾中央第二病院

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年は夏から秋にかけて毎週のように日本にやってきた台風、他にも地震や豪雨、猛暑など異常気象が続きました。今年はどうなるのかと心配しつつも穏やかな新年を迎えられたことと思います。

今年の干支は「己亥」です。己(つちのと)とは完成した自己や成熟した組織が次の段階を目指す準備をする年です。亥(い・が)とは個人は知識を増やす、精神を育てる、組織は人材育成や基盤を固める年です。外に向けての活動ではなく、内部の充実と専念すると良いようですので、心がけていきたいと思えます。

最後になりますが、今年も皆様にとって良い年となることを願って新年の挨拶と致します。

広報委員 リハビリテーション科 和田 直樹

表紙撮影者 看護部 窪田めぐみ